

平成31年度第1次募集（平成30年10月入学含む）
新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学者選抜試験問題
外国人留学生特別入試

生命・食料科学専攻

生物資源科学

D3

専門科目

注意事項

- 1 この問題冊子は，試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題冊子は，表紙を含めて全部で5ページある。
- 3 解答は，すべて解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 4 受験番号は，各解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 5 解答時間は，120分である。
- 6 下書きは，問題冊子の余白を使用すること。
- 7 あらかじめ届け出た2科目を解答すること。

園芸学（資源植物生産学分野）

I. 次の問いに答えよ。

1. 生鮮農作物の貯蔵方法には、電気冷蔵庫、雪室、フィルム密封などがあるが、これらに関して知ることを簡条書きで書きなさい。
2. 種無し果実について知ることを簡条書きで書きなさい。

II. ウリについて園芸的な見地から知ることを簡条書きで書きなさい。

農業生産環境学（資源植物生産学分野）

- I. 水稻の登熟は日平均気温 13°C で停止する。新潟県における水稻（コシヒカリ）の登熟は一般的に出穂からの積算日平均気温で $1,000^{\circ}\text{C}$ 必要である。これらのことを基に、水稻の「出穂晩限」について説明しなさい。

- II. 日本の農地土壌と年間降雨量 500mm の半乾燥地農地土壌を比較し、それぞれの特性を論じなさい。

- III. 日本における環境保全型農業では、（1）土づくりに関する技術、（2）化学肥料削減技術、（3）化学農薬低減技術と3つの柱がある。これについて、具体的な技術をそれぞれ述べなさい。

農産物流通論（食料・資源管理学分野）

- I. 青果物流通の核として多数の売り手と多数の買い手を繋ぐ日本の卸売市場システムについて次の問いに答えよ。
1. 下記の（ ）内に入る適切な語句（漢字一字）を記述せよ。
一般に卸売市場の4大機能と呼ばれるものは、(1)集(①)荷機能、(2)価(②)形成機能、(3)(③)済機能、(4)情報(④)発信機能である。
 2. 上記(4)の機能について、特定の品目を想定した場合の具体的内容を例示せよ(300字程度)。
 3. 上記(1)の機能について「第3者販売・直荷引き制限」ルールの意義について説明せよ(300字程度)。
 4. 次の用語について簡潔に説明せよ(100字程度)。
 - (a) 卸売市場法
 - (b) 仲卸業者
 - (c) 中央卸売市場
 - (d) セリ取引

食品産業論（食料・資源管理学分野）

I. 企業（メーカー）が製品ラインを拡大することのメリット（どのような強みをもたらされるのか）について説明せよ。

II. 次の各文章の（ ）内に適切な用語、言葉を入れよ。

1. プロモーション・ミックスの範疇を超える、マーケティング・ミックスの諸要素を総動員したコミュニケーションを（①）と呼ぶ。
2. 「経験効果」を生み出す主な要因としては、習熟を通じた能率の向上、（②）、投入要素の変更、製品の設計変更、がある。
3. 新製品・サービスの開発プロセスのタイプには、「並行的なプロセス（タイプ）」と「（③）プロセス（タイプ）」がある。このうち「並行的なプロセス（タイプ）」では、（④）や開発期間の短縮、といったメリットがある。